

SuitePRO V4

Windows Server® 2016 (ファイルサーバー初期設定済み) 手順書

株式会社 NTTPC コミュニケーションズ

作成日:2017年 6月 28日

更新日:2018年 3月 19日





目次

1.	はじめに	3
.		J

▶ ファイルサーバーのインストール

▶ファイルサーバーの設定変更

4. パスワード変更・ユーザー追加	
5. シャドウコピーの確認・変更・削除	
6. シャドウコピーの復元	
7. ディスククォータの変更・削除	
8. ファイルアクセス監査の削除	
9. SMB 暗号化の解除	23



1. はじめに

本手順書は、Windows Server 2016(ファイルサーバー初期設定済み)のインストール方法と、OS インストール後の設定に ついて解説しています。

設定項目

OS		
サーバーOS	Windows Server® 2016	Windows Server のファイルサーバー機能を
(本手順こてインストール)	Datacenter	インストール (OS インストールは手順 P.5 参照) ・ 役割 ・ファイルサーバー ・ファイルサーバーVSS エージェントサービス ・ファイルサーバーリソースマネージャー ・ツール ・ファイルサーバーリソースマネージャーツール
クライアントOS	Windows® 8以上	SMB 暗号化を利用しているため左記バージョン
(お客さま端末)	Windows Server® 2012 以上	以上(SMB 暗号化の無効化は手順 P.23 参照)

オプション		
追加ディスク	購入必須	OSインストール時に追加ディスクを作成し、スロットに割り
		当てます(手順 P.8 参照)
ファイアウォール	購入推奨	指定したアドレスのみダイレクト・ホスティング SMB
		(445/tcp)を許可(手順P.7参照)
バックアップ	購入推奨	1日1回、別ストレージにバックアップ

Windows Server 2016(ファイルサーバー初期設定済み)ユーザー・アクセス先					
Windows 管理者	Administrator	パスワードは初回ログイン時にお客さまにて設定			
ファイルサーバー用① ファイルの作成・変更・削除が可能	user[NIC1の第4オクテット※] (例)user29	パスワードは PROV4 コントロールパネルと同じ (パスワード変更は P.12 参照)			
ファイルサーバー用② ファイル参照のみ	user-ro[NIC1の第4オクテット※] (例)user-ro29	パスワードは PROV4 コントロールパネルと同じ (パスワード変更は P.12 参照)			
共有フォルダー	Dドライブ内の Share[NIC1 の第4 オクテット※]\$ (例) D:¥Share29\$	隠し共有のため、最後に\$を追加する			
サーバーアドレス	¥¥PROV4 サーバーIP アドレス¥share [NIC1 の第4 オクテット※]\$ (例)¥¥203.0.113.29¥share29\$	PROV4 サーバーIP アドレスは下記 VPN オプションをご契約中の場合: NIC3 UTM オプションをご契約中の場合: NIC4 それ以外のお客さま: NIC1 (共有フォルダーへのアクセスは P.10 参照)			

※NIC1の第4オクテット・・・ドットで区切られている IP アドレスの4番目の数字 (例)NIC1の IP アドレスが 203.0.113.29の場合は 29



Windows Server 2016(ファイルサーバー初期設定済み)詳細				
アクセス許可設定に基づいた列挙	有効	アクセス権のないファイルを表示しない		
共有のキャッシュ	有効			
キャッシュデータを他の端末でも利用する	無効			
シャドウコピー	有効	ファイル単位のスナップショット		
		・1日1回取得		
		・シャドウコピーの保存領域が D ドライブのディス		
		ク容量の10%を超えた場合、もしくは保存数		
		が64世代を超えた場合は古い世代から削除		
		される		
		※2017年7月26日以前にOSをインストール		
		した場合はシャドウコピーが無効となっているため		
		設定することを推奨		
		(シャドウコピー設定は手順 P.16 参照)		
ディスククォータ	有効	D ドライブの 85%に使用を制限		
		※シャドウコピー等 Windows で利用する容量を考慮		
		(無効化、サイズ変更は手順 P.20 参照)		
レポート機能	無効			
ファイルアクセス監査	有効	ユーザーの読み取り・書き込み処理をログに記録		
		(無効化は手順 P.21 参照)		
Windows ファイアウォール	有効	ダイレクト・ホスティング SMB(445/tcp)を許可		
SMB1.0/CIFS	無効	セキュリティ上無効にすることを推奨するが、		
		運用上有効化したい場合は以下の手順を実施		
		https://web.arena.ne.jp/support/suiteprov4/		
		manual/smb1_cifs.html		
SMB 暗号化	有効	SMB データのエンド ツー エンドの暗号化を提供		
		(無効化は手順P.23参照)		



WebARENA[®] SuitePRO V4

2. OS のインストール

SuitePRO V4 のコントロールパネル (https://pro4.arena.ne.jp) にログインし、OS をインストールします。

1. コントロールパネルの「サーバー」メニューから「簡単設定」を選択します。

サーバー	ストレージ			その他ツール・	アカウント・
osの	インストール	,			
標準	ios 簡単段	定			

2. 「Windows Server 2016 ファイルサーバー(ファイルサーバー初期設定済み)」を選択し、「セットアップ」をクリックします。

Sを選択してイ Sインストール OSの選択	ンストールします。 完了までの所要時間の	D目安は10分程度です。			
Windows	Server 2016(ファ	イルサーバー初期設定済	iz;)		
※ 「Windows Se	rver 2016(ファイルサー	(一初期設定済み)」は、ディ	rスクポイントを消費し	हर .	
				セットアップ	1



OS インストール済みの場合

「OSの変更」から、「簡単設定」にアクセス可能です。

サーバーが起動している場合は、先に「電源:停止/強制停止」からサーバーを停止しておいてください。

※OSを変更することで、すべてのデータが初期化されます。作業前にあらかじめデータのバックアップをしてください。

		更新 C	電源 🕛
ステータス: ▶ 起動中			起動
現在のOS	CentOS 7.1	OSの変更	停止
CPUコア数	2		強制停止
メモリサイズ	2GB		
ディスプレイデバイス	標準(cirrus)モード		リセット

「Slotを解除して空にしてください。」と表示された場合

ストレージから各 slot のディスクをすべて解除し、OS インストールを再実行してください。

OSを選択してインストールします。 OSインストール完了までの所要時間の目安は10分程度です。 Slotを解除して空にしてください。 OSの選択

○ Windows Server 2016 (ファイルサーバー初期設定済み)

コントロールパネルの「ストレージ」メニューから「ストレージ」を選択します。

サーバー	ストレージ	ネットワーク	バックアップ	セキュリティ・	その他ツール・
ストレ	ノージ管理				
スト	レージ ディ	マスク			

設定されているすべてのディスクを「解除」します。

接続モード: virtio	(標準)
起動ディスク	Disk_1505291019 (シリアル:150529011949)
Slot1	disk (シリアル : 150626120127) 設定 解除



3. OS インストールが始まります。所要時間は 10 分程度です。

OSインストール						
			更新 €			
1 事前セット	2 ディスク作	3 ストレージ	4 サーバー起			
アップ	成	設定	動			
事前セットアップ中です。 所要時間の目安は10分程度です。						
インストール中						

4. 続いてファイアウォールポリシーを設定します。(NIC3 は VPN ご契約の場合のみ表示されます。) ファイルサーバーへのアクセスを許可したい IP アドレスを入力し、「設定」をクリックします。 ※既にファイアウォールを設定していた場合でも、本設定を行うことで全て初期化されます。 (ファイアウォールエントリーのご契約がない場合、この画面はスキップされます。 また、現在のファイアウォールポリシーに「445/tcp」の通信許可設定が既にある場合も同様にスキップされます。)

1 事前セット アップ	2 ディスク作 成	3 ストレージ 設定	4 サーバー起動
ファイアウォールポリシ 現在設定しているポリシ ダイレクト・ホスティン 現在アクセスしている端	ー (外部 → サーバー) を ーはすべて初期化されます グSMB (445/tcp) の通(末のグローバ)LIPアドレン	設定します。 す。 言を許可するIPアドレスを マ : 198.51.100.50	指定してください。
NIC1 アクセスを許可するIP7 レス	7 ド 198.51.100.5	50	×
NIC3 アクセスを許可するIPフ レス ※すべての送信元に対してア ニューから変更できます。	アド all クセスを許可したい場合は、「こ	all」と入力してください。 設定は	後から「セキュリティ」 メ
			設定

ファイアウォールの設定は後でも変更できます。

https://web.arena.ne.jp/support/suiteprov4/manual/fw_entry_settings.html

 $\overline{7}$



5. 次にディスクを作成します。

ディスクプランを選択し、「作成」をクリックします。ディスクの作成が完了すると、自動的に次の画面に進みます。 (ディスクが既に作成されている場合、この画面はスキップされます。)

OK 事前セット アップ	イスク作	3 ストレージ 設定	4 サーバー起 動	ディスクポイント 残り / 契約ポイント 1000 / 1000
ディスクを新規作成します。				契約情報の確認は <u>こちら</u> 男
♥ 新規作成する				
ディスクプランの選択 *	標準ディスク :	1000GB (1000ポイン	×ト) V 作成	

6. ディスクを slot1 に割り当てます。ディスクを選択し、「設定」をクリックします。

ここで割り当てたディスクは初期化され、データは全て消去されます。

別のディスクを使用したい場合は、右上の「ディスク新規作成」から、新しいディスクを作成してください。

OK ^{事前セット} アップ	3 ストレージ 設定	4 サーバー起動	ディスク新規作成
ディスクをSlot1に割り当てます。 ここで選択したディスクは初期化されます。			
♥ 作成済みのディスクを割り当てる			
 起動ディスク (シリアル: 180301064624) 			
○ Disk_1803011820 (シリアル:180301182045)			
		設定	



7. 設定がおわると、サーバーを起動する画面が表示されるので「起動」をクリックします。

OK	OK	OK	4
事前セット	ディスク作	ストレージ	サーバー起
アップ	成	設定	動
サーバーを起動します。		起動	

8. サーバーが起動したら「コンソールを開く」をクリックします。 別画面でコンソールが開くので、Administratorのパスワードを設定してください。

パスワード設定後、画面に何も表示されない状態が数分続きます。Windows 設定処理を行っていますので、電源を切 らずにしばらくお待ちください。(処理中にサーバーを停止した場合、再度 OS をインストールし直す必要があります。)

以上で OS のインストールは完了です。



Webarena SuitePro V4

3. 共有フォルダーへアクセス

クライアント端末から、共有フォルダーにアクセスします。

Windows® 8以上、Windows Server® 2012以上の端末を準備してください。MAC の場合は MAC OS X v10.10以 上となります。

※SMB 暗号化を利用しているため上記バージョン以上が必要となります。(SMB 暗号化の無効化は本手順 P.23 参照)

Windows の場合

1. エクスプローラーや、ブラウザ等で下記のようにファイルサーバーのアドレスを入力し、Enterを押します。 隠し共有のため、最後に\$を追加する必要があります。



2. ユーザー名、PROV4 コントロールパネルのパスワードを入力し、ログインできることを確認してください。 user【NIC1 の第4オクテット※】 ファイルの作成・変更・削除が可能 user-ro【NIC1の第4オクテット※】 ファイルの参照のみ

※NIC1の第4オクテット・・・ドットで区切られている IP アドレスの4番目の数字 NIC1の IP アドレスが 203.0.113.29 の場合は 29

Windows セキュリティ	×			
ネットワーク資格情報の入業	Ъ			
次に接続するための資格情報を入力してください: 203.0.113.29				
user29 <mark>(例</mark>)				
••••••	୕			
□ 資格情報を記憶する				
ОК	キャンセル			

以上でファイルサーバーとして使用できるようになりました。 次のページを参考に、パスワードの変更をしてください。





MAC の場合

1. 「Finder」を起動し、メニューの「移動」から「サーバーへ接続」を選択します。 下記のように smb://のあとにファイルサーバーのアドレスを入力し「接続」をクリックします。 隠し共有のため、 最後に\$を追加す る必要があります。

	サーバへ接続
サーバアドレス:	
smb://203.0.113.29/Share29	\$ (例) + ③~
よく使うサーバ:	
? 削除	プラウズ 接続

2. ユーザー名、PROV4 コントロールパネルのパスワードを入力し、ログインできることを確認してください。 user【NIC1の第4オクテット※】 ファイルの作成・変更・削除が可能

user-ro【NIC1の第4オクテット※】 ファイルの参照のみ

※NIC1の第4オクテット・・・ドットで区切られている IP アドレスの4番目の数字 NIC1の IP アドレスが 203.0.113.29の場合は 29

<u>î</u> îî	サーバ"203.0.113.29"用の名前とパスワードを入力して ください。 ユーザの種類: グスト ② 登録ユーザ
	名前: user29 <mark>(例)</mark>
	パスワード:
	□ このパスワードをキーチェーンに保存
	キャンセル 接続

以上でファイルサーバーとして使用できるようになりました。 次の章を参考に、パスワードの変更をしてください。





4. パスワード変更・ユーザー追加

ローカル ユーザーとグループ (ローカル)を起動します。検索ボックスに「lusrmgr.msc」と入力してください。

	Q	[נ					
	最も一致	する検索	認結果					
ŵ		usrmg Microso	r.msc ft Comn	non Con	sole Doc	ument		
ŝ		ŝ	ß				jî	
	lusrmg	r.msc						

パスワード変更

1. ローカル ユーザーとグループ (ローカル)からファイルサーバー用ユーザーの初期パスワードを変更します。「ユーザー」から、パスワ ードを変更したいユーザーを選択し、右クリックして「パスワードの設定」を選択してください。

🌆 lusrmgr - [ローカル ユーザーとグルー:	プ (ローカル)¥ユ	[−ザ−]			
ファイル(F) 操作(A) 表示(V) へ	ルプ(H)				
🗢 🔿 🙋 📆 🔀 🛯	?				
ローカル ユーザーとグループ (ローカル) マーザー	名前		フル ネーム		説明
	🛛 🛃 Adminis	strator			コンピューター/ドメインの管理
- 9Iv-7	🗖 Default/	Acco			システムで管理されるユーザ
	Guest				コンピューター/ドメインへのゲ
					read write
	us el	パス!	フードの設定(S)		read write
	us el	パスワ	フードの設定(S)		read write read only
	se us al Lus al	パスワ	フードの設定(S) てのタスク(K)	>	read write read only
	es us s	パス! すべて 削除	フードの設定(S) てのタスク(K) :(D)	>	read write read only
	es us s	パス! すべて 削除	フードの設定(S) てのタスク(K) :(D)	>	read write read only
	ins a Constant Consta	パス! すべて 削除 名前	フードの設定(S) てのタスク(K) :(D) :の変更(M)	>	read write read only
	is i	パス! すべて 削除 名前 プロノ	フードの設定(S) てのタスク(K) (D) (の変更(M)	>	read write read only
	us : Lus us	パス! すべて 削除 名前 プロ/	フードの設定(S) てのタスク(K) :(D) iの変更(M) (ティ(R)	>	read write read only
	US H	パス! すべて 削除 名前 プロ/ ヘル:	フードの設定(S) てのタスク(K) (D) (の変更(M) (ティ(R) プ(H)	>	read write read only





2. 警告画面が出ますが、「続行」を選択してください。

user29	のパスワードの設定	\times
<u> </u>	このパスワードをリセットすると、復元できない情報の損失がこのユーザー アカウントに発生する場合があり す。パスワードがリセットされた場合、セキュリティ上の理由で、Windows は一部の情報へのアクセスを禁 することによってそれらの情報を保護します。	ま 観止
	このデータ損失は、次回ログオフ時に発生します。	
	このコマンドは、パスワードを忘れた場合、パスワードリセット ディスクがないときにのみ使用します。 事前に 成したパスワード リセット ディスクがあれば、そのディスクを使用してパスワードを設定します。	作
	ユーザーがパスワードを知っていて変更する場合は、Ctrl + Alt + Del キーを押してから [パスワードの変更] クリックしてください。	を
	詳細については、[ヘルプ] をクリックしてください。	
	続行(P) キャンセル ヘルプ(H)	

3. パスワードを二回入力します。

user29のパスワードの設定				?	×
新しいパスワード(N):					
パスワードの確認入力(C):					
🛕 [OK] をクリックすると、次のこと	が行われ	ます:			
このユーザー アカウントは直ちに 個人セキュリティ証明書へのア	、暗号化る クセスをす	されたファイル、 べて失います。	各納された/	パスワードは	および
[キャンセル] をクリックすると、パスワー	ドは変更さ	されません。デー	タの損失も	ありません	o
ОК		キャンセル			
ローカル ユーザーとグループ	×]			
() パスワードは設定されました					
ОК					

以上でパスワードの変更は完了です。再度ログインできることを確認してください。 有効期限は、Windows サーバーのデフォルト値の 42 日ですので、定期的にパスワードを変更してください。 また、必要に応じて有効期限の変更を行ってください。



ユーザー追加

1. 新しいユーザーを作成する場合は、ローカル ユーザーとグループ (ローカル)の右画面にて右クリックをし「新しいユーザー」を選択 します。既存ユーザーを選択せずに、何もないところで右クリックしてください。



新しいユーザー		?	×
ユーザー名(U):	nttpc-user <mark>(例)</mark>		
フル ネーム(F):			
説明(D):			
パスワード(P):	•••••		
パスワードの確認入	л(С): ●●●●●●●●●●●		
□ ユーザーは次回[
□ ユ <i>−</i> ザ−はパスワ	ードを変更できない(S)		
□ パスワードを無期	1限にする(W)		
□ アカウントを無効)にする(B)		
ヘルプ(H)	作成(E)	閉じる((0)

初期状態※では、5回パスワードを間違えると、30分のロックがかかります。条件を変更するには、セキュリティポリシーの設定 を変更してください。 ※2018年3月23日以降こOSをインストールした場合



Webarena SuitePRO V4

2. 続いて作成したユーザーのアクセス権を設定します。パワーシェル(管理者権限で起動)にて下記のようにコマンドを入力してく ださい。

ファイルの作成・変更・削除を許可する場合

下記の例ではユーザー「nttpc-user」に「D:¥Share29」以下のフォルダーに権限を付与しています。

> icacls D:\FShare29\\$ /grant:r "nttpc-user:(OI)(CI)(M)" /T

ファイルの参照を許可する場合

下記の例ではユーザー「nttpc-user」に「D:¥Share29」以下のフォルダーに権限を付与しています。

> icacls D: ¥Share29\$ /grant:r "nttpc-user:(OI)(CI)(R)" /T

以上でアクセス権の設定は完了です。

アクセス権限は、icalcsコマンドで確認できます。

```
権限:R=読み取り専用 /M=編集権限 /F=フルコントロール
```

nttpc-user:(OI)(CI)(R)
ser29:(OI)(CI)(M)
ser-ro29:(OI)(CI)(R)
略



5. シャドウコピーの確認・変更・削除

シャドウコピー機能を利用することで、削除してしまったファイルを復活させるなど、ファイルの自動バックアップが可能となります。 シャドウコピーは初期状態で1日1回取得します。

※2017年7月26日以前にOSをインストールした場合はシャドウコピーが無効となっているため、下記手順を参考に有効にすることを推奨します。

シャドウコピーのスケジュールを確認

下記の例では、AM2:44 にシャドウコピーが実行されます。

> Get-ScheduledTask -TaskName ShadowCopy | Get-ScheduledTaskInfo | where {\$_.nextruntime

-ne snull} | select taskpath,taskname,nextruntime

taskpath

taskname nextruntime

¥MSFT_TaskDailyTrigger¥ ShadowCopy 2017/07/26 2:44:44

上記でシャドウコピーのスケジュール設定がない場合は、以降の手順で設定することが可能です。

シャドウコピー設定

シャドウコピーの設定をする場合は、パワーシェル(管理者権限で起動)にて下記のようにコマンドを入力してください。本手順では、Dドライブの10%で設定しています。

> \$ShadowSize=[math]::round((gwmi Win32_LogicalDisk ? {\$DeviceID -eq "D:"}).Size * 0.1,0)					
> vssadmin add shadowstorage /for=D: /on=D: /maxsize=\$ShadowSize					
vssadmin 1.1 - ボリューム シャドウ コピー サービス管理コマンド ライン ツール (C) Copyright 2001-2013 Microsoft Corp.					
シャドウコピーの記憶螺環連付けが正く追加されました 容量を変更するには下記のコマンドを実施 (例)1GBに変更					
vssadmin resize shadowstorage /for=D: /on=D: /maxsize=1GB					





ONTTPC COMMUNICATIONS

シャドウコピーのスケジュール設定

シャドウコピーのスケジュールを設定する場合は、パワーシェル(管理者権限で起動)にて下記のようにコマンドを入力してください。 下記の例では毎日午前2時に設定しています。

> \$Action=new-scheduledtaskaction -execute "c:\#windows\#system32\#vssadmin.exe" -Argument "create shadow /for=D:"

> \$trigger=New-ScheduledTaskTrigger -daily -At 2AM

> Register-ScheduledTask -TaskName ShadowCopy -Trigger \$trigger -Action \$Action \$trigger -Description "ShadowCopy" -Force

シャドウコピーのスケジュール停止

シャドウコピーのスケジュールを停止する場合は、パワーシェル(管理者権限で起動)にて下記のようにコマンドを入力してください。

> schtasks /Delete /TN ¥MSFT_TaskDailyTrigger¥ShadowCopy /F

成功: スケジュール タスク "¥MSFT_TaskDailyTrigger¥ShadowCopy" は正しく削除されました。

取得したシャドウコピーの削除

シャドウコピーを削除する場合は、パワーシェル(管理者権限で起動)にて下記のようにコマンドを入力してください。

> vssadmin Delete Shadows /For=D:
vssadmin 1.1 - ボリューム シャドウ コピー サービス管理コマンド ライン ツール
(C) Copyright 2001-2013 Microsoft Corp.
2 個のシャドウ コピーを削除しますか (Y/N): [N]? Y
2 個のシャドウ コピーが正しく削除されました。

対話形式にしない場合は、/Quietを付け加えて実行します。 vssadmin Delete Shadows /For=D: /Quiet

シャドウコピー設定の削除

シャドウコピーの設定を削除する場合は、パワーシェル(管理者権限で起動)にて下記のようにコマンドを入力してください。 ※シャドウコピー設定の削除をする前に、これまで取得したシャドウコピーを削除する必要があります。

> vssadmin Delete ShadowStorage /for=D: /on=D:
 vssadmin 1.1 - ボリューム シャドウ コピー サービス管理コマンド ライン ツール
 (C) Copyright 2001-2013 Microsoft Corp.
 シャドウ コピーの記憶或現重付けが正しく削除されました

「エラー:オプションの値が無効です。」と表示された場合は、取得したシャドウコピーが残っている可能性があります。 先に「vssadmin Delete Shadows /For=D:」にて削除を実行してください。



WebARENA[®] SuitePRO V4

※この手順は、必要に応じて変更してください。

6. シャドウコピーの復元

シャドウコピー機能を利用している場合、上書き/削除してしまったファイルやフォルダーを元に戻すことができます。

ファイルのコピー・復元

1. 対象のファイルを選択し、右クリックして「以前のバージョンの復元」を選択します。



2. シャドウコピー一覧が表示されますので、対象のバージョンを選択し、「開く」をクリックしてください。ファイルを開いたら、「名前を 付けて保存」を選択し、別名で保存してください。









フォルダーのコピー・復元

1. 対象のフォルダー内で何も指定せず、右クリックして「プロパティ」を選択します。

🖵 📝 📙 🖛 Sha	are29\$;				
ファイル ホーム	共有	表示				
← → ~ ↑ 👤	> ネッ	ハワーク → 203.0.113.29	> Share29\$			
 ★ 91%9 P9セス ■ デスクトップ ◆ ダウンロード ※ ドキュメント ※ ビクチャ ■ ピクチャ ■ PC ☆ ネットワーク 	* * *	名前 フォルダー1 フォルダー2 デキストファイル1 デキストファイル2	 表示(V) 並べ替え(O) グループで表示(P) 最新の情報に更新 	更新日時 2017/08/03 10:11 2017/08/03 10:11 2017/08/03 10:12 2017/08/03 10:12	種類 ファイル フォルダー ファイル フォルダー テキスト ドキュメント ニキスト ドキュメント ン ン	サイズ 0 KB 0 KB
			このフォルダーのカス 貼り付け(P) ショートカットの貼り 元に戻す - 名前の 共有(H) 新規作成(X) プロパティ(R)	タマイズ(F) 付け(S) 変更(U) Ctrl	+Z > > >	

2.「以前のバージョン」タブをクリックするとシャドウコピー一覧が表示されます。対象のバージョンを選択し、「開く」をクリックしてくださ い。以前のバージョンのフォルダーが開くので、復元したいファイルをコピーして、別の場所に保存してください。

💄 Share29\$ (¥¥203.0.113.29)Ø	プロパティ	×	
全般 ネットワーク セキュリュィ 以前のパージョンは、 されるシャドウコピーク フォルダーのパージョン(F):	以前のバージョン コンビューターのハード ディスクに自動的にf いら復元できます。	呆存	
名前 ~ 今週 (3)	更新日時		
Share29\$	2017/08/03 10:26		
A Share29\$	2017/08/01 10:26		
	開<(<u>O)</u> ↓ 復元(<u>R</u>)	 	※「開く」と「復元」の違い 「復元」を選択すると、フォルダー内の すべてのファイルが以前のバージョンに
O	(キャンセル 適用	(A)	上書きされますのでご注意ください。





※この手順は、必要に応じて変更してください。

7. ディスククォータの変更・削除

初期設定ではディスククォータをDドライブの85%で設定しています。(シャドウコピー等、Windows で利用する容量を考慮し ています。)

サイズ変更

サイズを変更する場合は、パワーシェル(管理者権限で起動)にて下記のようにコマンドを入力してください。

例:100GBに変更する場合

※NIC1の第4オクテット・・・ドットで区切られている IP アドレスの4番目の数字 NIC1の IP アドレスが 203.0.113.29の場合は 29



削除

制限を削除する場合は、パワーシェル(管理者権限で起動)にて下記のようにコマンドを入力してください。

※NIC1の第4オクテット・・・ドットで区切られている IP アドレスの4番目の数字 NIC1の IP アドレスが 203.0.113.29の場合は 29







※この手順は、必要に応じて変更してください。

8. ファイルアクセス監査の削除

初期設定では、ファイルアクセス監査が有効になっています。この設定により、ユーザーの読み取り・書き込み処理をログに記録しています。ファイルアクセス監査を有効にしておくことを推奨しますが、停止する場合は下記手順を実施してください。

1. サーバーマネージャーを起動し「共有」から Share 【NIC1 の第4オクテット※】\$を選択し、右クリックしてプロパティを開きます。 ※NIC1 の第4オクテット・・・ドットで区切られている IP アドレスの4番目の数字 NIC1 の IP アドレスが 203.0.113.29 の場合は 29

≡			Windows Server		
	よく使う	うアプリ			
		メモ帳	E.	N	Σ
	9	Snipping Tool	し サーバー マネー ジャー	Vindows	Windows DowerShell ISE
	ø	ペイント	- N -	owersnell	Powersneil ise
	w		۴.		<u>e</u> e
		Windows PowerShell	Windows 管理 ツール	タスク マネージャー	コントロール パネ ル
		Windows アクセサリ			
		Windows システム ツール		1	
		Windows 管理ツール	リモート デスクトッ プ接続	イベント ピューアー	エクスプローラー
		Windows 簡単操作			
	Ę				
	ß	サーバー マネージャー			
	漢字				
8	Q	検索			
	¢	設定			
\$ <u>\$</u>					
Φ					
	Q				

	· v~->+-					
E	●・ サーバーマ	ネージャー・	ファイル サービス	と記憶域	ナービス	、 • 共有
	サーバー	ジ 共有 すべての共行	有 合計:1			
	ディスク 記憶域プール	<i>フィルター</i> 共有	ס גע אנת−ם	≡ ▼ ■	✓	可用性の種類
	共有	▲ WINLMEC	- ///// フォータの構成		SMB	非クラスター化
	ワーク フォルダー	4	7ォータの削除 共有の停止			
			は有を開く プロパティ			





2.「アクセス許可」から「アクセス許可をカスタマイズする」をクリックします。

🛃 Share のプロパティ			_	· □ >	×
Share					
すべて表示 全般 + アクセス許可 - 設定 + 管理プロパティ +	アクセス 共有のファイ 可、および頻 す。 共有のアクイ フォル.ダーのつ	許可 /ルに対するアクセス許可は、フォルダーの 単約型アクセス ポリシー (オプション) の経 セス許可: Everyone フル コントロール アクセフ 鉄 可(5)・	アクセス許可、共: み合わせを使用し	有のアクセス許 て設定されま	
	ノォルターの、 種類	アクセス計中J(F): プリンシパル	アクセス	適用先]
	許可	NT AUTHORITY¥SYSTEM	ע-םאכב ער	このフォルダー、サ	
	許可	BUILTIN¥Administrators	フル コントロール	このフォルダー、サ	
	許可	WIN-ME0JC4VD5FS¥user-ro56	読み取り	このフォルダー、サ	
	許可	WIN-ME0JC4VD5FS¥user56	フル コントロール	このフォルダー、サ	
	<			>	
	7722	許可をカスタマイズする(C)			,
		OK	キャンセル	適用(A)]

3. 「監査」タブを開き、現状の設定を選択し、「削除」をクリックします。削除したら「OK」をクリックします。

📕 Shareのセキュ	リティの詳細設定					×
名前:	d:¥Share					
所有者:	Administrator (WIN¥A	ministrator) 変更(C)				
アクセス許可	共有 監査	有効なアクセス				
詳細については	よ、 監査エントリをダブルクリックし	てください。監査エントリを変更する	らには、エントリを選択し、[編集] ((使用できる場合)をクリックします。		
監査エントリ:						
種類	プリンシパル	アクセス	継承元	適用先		
🎎 すべて	Everyone	特殊	なし	このフォルダー、サブフォルダー	およびファイノ	٧.
追加(D)	削除(R) 編集(E)					
継承の有交 □子オブジェク	か化(!) 7トの監査エントリすべてを、この:	オブジェクトからの継承可能な監査	エントリで置き換える(P)			
				OK キャンセル	適用()	А)

以上でファイルアクセス監査の設定が削除されました。





※この手順は、必要に応じて変更してください。

9. SMB 暗号化の解除

SMB 暗号化は、SMB データのエンド ツー エンドの暗号化を提供するため、本機能を有効にした状態でのご利用を推奨 します。Windows® 8、Windows Server® 2012 以上の OS をクライアントとしてご利用ください。 Windows® 7 等、SMB 暗号化に対応していない OS は、SMB 暗号化を解除することでご利用いただけますが、ファイル 転送時の暗号化が無効になりますので、解除する場合はお客さまの判断と責任において実施してください。

サーバーマネージャーを起動し「共有」から Share 【NIC1 の第4オクテット※】\$を選択し、右クリックしてプロパティを開きます。
 ※NIC1 の第4オクテット・・・ドットで区切られている IP アドレスの4番目の数字 NIC1 の IP アドレスが 203.0.113.29 の場合は 29

🏊 サーバー	- マネージャー	
\mathbf{E}	●・ サーバー ⊽	ネージャー・ファイル サービスと記憶域サービス・共有
100 11 11	サーバー ポリューム ディスク	共有 すべての共有 合計: 1 アノルター ア (注) ▼ (第) ▼ (1) (1)
) 記憶域プール 共有	共有 ローカルパス プロトコル 可用性の種類
	15C31 7-7771119-	Share クォータの構成 クォータの削除 共有の停止 共有を聞く SMB 非クラスター化 ブロパラィ ブロパラィ 「クロパラィークの構成 「クロパラスター化

2.「設定」を開き、「データアクセスの暗号化」のチェックを外し、「OK」をクリックします。

🛃 Share のプロパティ	– 🗆 X
Share	
すべて表示 全般 + アクセス許可 + 設定 - 管理ノリハティ +	 設定 アウセス許可設定に基づいた列挙を有効にする(A) アクセスペースの列挙により、ユーザーがアクセス許可を持つファイルとフォルダーだけが 表示されます。ユーザーが読み取り(よたは同等の)アクセス許可を持っていないフォル ダーは、そのユーザーに対して表示されません。 オのキャッシュを許可する(W) 格ヤッシュにより、共有の内容をオフライン ユーザーが使用できるようになります。ネット ワークファイル役割サービス用の BranchCache がインストールされている場合は、共有 で BranchCache を有効にできます。 フrイル共有の BranchCache を有効にする(E) BranchCache を有効にすると、この共有からダウンロードしたファイルを支社のコン ビューターでキャッシュし、支社の他のコンビューターで安全に使用することができます。 データ アクセスの暗号化(E) 和がにすると、この共有に対するリモート ファイル アクセスが暗号化されます。これによ リデータを共有に送受信する際に許可されていないアクセスからデータが保護されます。 cのボックスがオンで、灰色表示になっている場合には、管理者によってサーバー全体の 暗号化がオンになっています。
	OK キャンセル 適用(A)

以上で SMB 暗号化が解除されました。

